

親子で学んだ

「いのちとからだ」の大切さ

令和8年8月25日、中央小学校にて、親子で参加 子育て講演会が開催されました。

2026年9月

PTA
文化体育部
主催

笑いと感動であっという間の1時間！

前半：児童向け「いのちとからだの話」

最初は少し緊張していたこどもたちですが、葉山先生のパワフルで面白い語り口に、一気に引き込まれて会場は笑い声に包まれました。「月経」など、思春期に起こるデリケートな体の変化についても、医療の現場から分かりやすく優しく教えていただき、こどもたちが真剣に聞いている姿が印象的でした。

出産についても赤ちゃん目線でユーモアたっぷりに語られる先生の言葉に、我が子の出産当時を思い出して、涙ぐまれる保護者の方もおられました。



後半：保護者向け「思春期の子をもつ親の勉強会」

「性の話ってとても大切なのに、思春期のこども（特に異性の子）とどう話していいかわからない」という親の日々の悩みに寄り添いながら、間違った性情報に惑わされないために親として「誰が、どこで、何をきちんと伝えるべきか」について、熱く、そして笑いを交えながら語ってくださいました。

「おもしろいおばちゃん」のような親しみやすさと、医療現場のプロとしての説得力のあるお話に、1時間の講演は本当に「あっという間」に過ぎていきました。



編集後記

夏休み最後の親子活動として、たくさんの保護者の皆様、そしてこどもたちにご参加いただき、本当にありがとうございました。今回の講演会が、それぞれの家庭で「いのち」や「からだ」について温かく語り合う、素敵なきっかけになれば幸いです。会の感想には、「他の保護者さんやこどもたちにも聞かせたかった」「全校に聞かせたかった」という感想もいただきました。ありがとうございました。